

第6回 大口町行政経営審議会 議事録

日 時 平成27年11月20日 金曜日 午後6時から
 場 所 大口町役場 2階 第1会議室
 出席者 田村健治（国際交流事業推進委員）、舟橋里美（商工会）
 木野由美子（NPO法人まちなつと大口）、加藤正男（タイム技研株式会社）、
 丹羽昭雄（有限会社宝製作所）、今尾謙一（愛知銀行）、棚村重三（元区長会長）、
 江端満世志（元議会議員）、吉田美晴（社会教育委員）、井上隆夫（公募による委員）
 吉田和江（NPO法人子どもと文化の森）、井上正直（公募による委員）
 欠席者 岩崎恭典（四日市大学教授）、山田吉昭（株式会社青山製作所）、
 日比野喜也（公募による委員）
 事務局 馬場輝彦（総務部長）、社本寛（政策推進課長）、岩田雄治（政策推進課）
 議題 (1) 基本計画 分野別計画（案）第5・6章について
 (2) まちづくり戦略について
 (3) その他
 配布資料 資料1：第3編基本計画分野別計画（案）第3章
 資料2：第7次大口町総合戦略 分野別計画構成
 資料3：第3編基本計画分野別計画（案）第5・6章

1. あいさつ

| | |
|-------|---|
| 副 会 長 | <ul style="list-style-type: none"> ○岩崎先生が体調不良のため欠席となります。 ○運営議案の第5章、6章について議論をしたい。 ○さらに時間の許す範囲内で、まちづくり戦略についても議論したい。 ○まずは事務局から資料説明を頂きたい。 |
|-------|---|

2. 議題

(1) 基本計画 分野別計画（案）第5・6章について

■基本計画 分野別計画（案）第5章について

| | |
|-------|--|
| 副 会 長 | ○資料3 第3編基本計画分野別計画（案）第5章について、事務局から説明をお願いします。 |
| 事 務 局 | ○資料3 第3編基本計画分野別計画（案）第5章について説明。 |
| 副 会 長 | ○第5章の内容で質問や意見がある方は、ご発言をお願いいたします。 |
| 委 員 | ○129 ページ（2）既存企業への支援について、以前配布された「まちづくり戦略」で明記されていた③が抜けているが、施策ではどう認識しているのか。 |
| 事 務 局 | ○まちづくり戦略の「優秀な人材の確保のための支援」については、基本計画の総論の中に記述されている。分野別計画においては、事務局で修正した部分があるため、③の内容は、②に明記されている。 |
| 委 員 | ○125 ページの農地の多面的機能保全について、説明いただきたい。 |

| | |
|-----|---|
| | <p>○108 ページの環境学習の推進の中で、「環境負荷の少ない」という表現が使われているが、基本計画の記述として適切かどうか、全体で審議したい。</p> <p>○120 ページの公園・緑地の整備について、町民一人当たりの目標指標が 3.1 m² だが、国が示す目標は 10 m²とされている。2025 年度は 3.6 m²とあるが、目標値をより高くすべきではないだろうか。</p> <p>○121 ページについて。小規模業者があつて町の産業が成り立っているにも関わらず、大企業のみ基本分野別計画の記述がされているように感じる。</p> |
| 委員 | ○120 ページについて将来的に、緑地の整備を 10 m ² /人したいと考えているのか。現状との隔たりが大きいので、どのように捉えているのか。 |
| 事務局 | <p>○農地が持つ多面的な機能として、防災・教育・文化などの機能を維持するために農地を管理してもらう必要があり、交付金を支給している。</p> <p>○農地は田んぼだけでなく、水路も含めたエリアで管理していく必要がある。交付金制度は、まだ始まったばかりであるが、行政で行き届かなかった部分を管理してもらうための制度であると考えている。</p> <p>○「環境負荷の少ない」という表現については、国土交通省などで常用されているものを参考として、記述している。</p> <p>○理想とする 10 m²/人は法律として定められているが、現実的に大口町で不足した分の面積を購入して確保した場合、土地代などの費用について町民から理解を得られるかという問題もあると考えている。</p> |
| 委員 | ○公園・緑地の整備については、大口町は農地が多いという立地条件もあるが、どのように整備を進めていくかアイデアを出していくことも必要であると考えている。 |
| 委員 | ○「公園・緑地」として集計することのできない、面積の小さい広場などを活用し、また的確に管理を進めていく必要があるのではないだろうか。 |
| 委員 | ○都市部は農地がないため、公園整備を進めている。大口町とは状況が異なることも考えることができる。 |
| 委員 | ○都市公園としてカウントできない広場もあるのではないかと。大口町では公園とはとらえられない面積の少ない公園・広場を効果的に配することで防災にも役立つのではないだろうか |
| 委員 | ○五条川の広場は一種の公園としての機能を果たしていると感じる。 |
| 委員 | ○町民が、公園が不足していると実感していないように感じる。 |
| 事務局 | ○現状と課題を把握する中で、国が定めた目標値と理想値を大口町の指標としていくべきか、再度検討する必要がある。 |
| 委員 | ○121 ページの指標は、次ページにかかっている。 |
| 事務局 | <p>○121 ページ前頁のものが見切れている部分に関して、修正します</p> <p>○商工業については、大企業向けに目が行きがちにならないよう、行政としては、中小企業向けに記載しているつもりであるが、より細かい施策を定めていくために再度検討していきたい。</p> |
| 委員 | ○企業の大きさを現実的でなく学術的に考えているのではないかと。 |

| | |
|-----|--|
| | <p>○大口町では小売店にあたる店舗は2件しかない。大口町で存在する小売店や町工場向けに配慮する文章が必要ではないだろうか。</p> <p>○商店街などが無いという特異性もあるが、大企業ばかりに目が向いていては、基本計画として不十分ではないだろうか。</p> |
| 事務局 | <p>○大口町は、昔から小売店が少ないという特徴もある。町工場などの支援を基本計画で意識しているが、町全体で商業に対する意識が低いと感じる部分もある。</p> |
| 委員 | <p>○昔から商店がなく、商業があまり成り立たない町であると言える。</p> <p>○129ページの「検討します」という表現を「努めます」に変えるべきではないだろうか。中小企業向けのことを明記されていない。商工会などの団体を通して、後方支援を行っていくことはできないか。</p> |
| 委員 | <p>○49ページのまちづくり戦略3において、「経営相談、経営指導の充実」が小企業に対して行われているはずだが、第5章において明記されていないようだがなぜなのか。</p> |
| 事務局 | <p>○相談指導の充実は、商工会や国の支援を連携する必要があり、町単独だけで行えない部分がある。そのため、町の計画として実施すると必ず断言できないため、文章を修正した部分がある。</p> |
| 委員 | <p>○最初に配布された資料と、後から基本計画において、変更された記述がどこなのか委員が認識できていない。</p> <p>○事務局で随時変更していると理解すればよいのか。また、戦略に入っている項目が外されているがなぜなのか。削除したものは教えてほしい。</p> |
| 事務局 | <p>○事務局で随時変更している点もある。</p> |
| 委員 | <p>○町内広報の記事において、町内には650法人あり、法人税を払っていない法人もあると記述されている。どのような法人が法人税を払っていないのか。また、その法人に対しての支援をどう行うと考えているのか。現状を分析した上で、支援や対策に関するアイデアが出てくるのではないか。</p> <p>○129ページの中小企業診断士などを交えた支援など、そのような支援はどう考えているか。個々の企業の分析が必要ではないか。</p> |
| 事務局 | <p>○法人税について、経営は各自において変動があるものと考えている。</p> <p>○中小企業診断士については、商工会に補助金を出して担ってもらっている。支援の窓口としては商工会に依頼をしている。</p> |
| 委員 | <p>○企業に対して、個別で商工会から中小企業診断士を紹介するなどの支援は行っている。商工会の中でも、経営指導員がおり対応している。</p> |
| 委員 | <p>○商工会の中で、各企業が法人税を払っているか把握しているのか。</p> |
| 委員 | <p>○私自身商工会の理事ではあるが、職員でないため、各法人の法人税の支払についてまで把握はしていない。</p> |
| 委員 | <p>○法人税について商工会は、県全体の企業別データとして保有しているはず。</p> <p>○50年先の少子高齢化について、町全体の将来像が見えないように感じる。基本計画の中で子ども達への教育など書かれているが、商工業について将来像がよ</p> |

| | |
|-----|--|
| | く見えないように感じる。 |
| 事務局 | <p>○大口町の特殊性として、商店街がなく、工業団地があるわけでもないため、商工業について明記することが難しい部分がある。</p> <p>○今後、車社会を対象にするのではなく、歩行での買い物者を対象としたこと商工業について考えていかなければならないと感じている。</p> |
| 委員 | ○犬山では商工会議所が市と連携して、企業を犬山城周辺に誘致している。現段階では大口町と商工会が連携し、町内の商業の活性化のための企画などであってもよいのではないだろうか。現状の取り組みとして、さくらまつり以外に観光・商業の事業が無いと感じる。 |
| 事務局 | ○大口町の状況として、周辺都市と比べ観光・商業に対してまだ不十分な点があることは認識している。今後、商工会との連携も含めて考えていきたい。 |
| 委員 | <p>○第1節から第2節にかけて、個別に多くの施策が書かれているが、まちづくり戦略が3つしか明記されていない。</p> <p>○この中で、五条川の保全施策は、単位施策でもよいのではないだろうか。今後、重点的に行うべきことは、まちづくり戦略ではないだろうか。計画書に書かれている個別施策は全て実施するのか。抜き出し方は個別施策を抜き出しているのか。</p> <p>○まちづくり戦略をどう進めて、フォローしていくのかという流れについて理解できていない。</p> |
| 事務局 | <p>○まちづくり戦略については、後ほど改めて議論したい。重点的に行うことを、まちづくり戦略に記しているわけではない。</p> <p>○戦略については、江幡委員がおっしゃたように、いくつか絞った町の将来計画を定めていくことが重要と捉えている。将来的な町のイメージや戦略を3つ程度に絞り実施していくことが大切だと考えている。</p> <p>○例えば、人口減少に関しては、若い世代が大口町に住んでみたいと思わせるようなまちなみを作る必要がある。また、農業については、面積の問題もあり、大口町の特色とは言いがたい。そのため、戦略では農業に特化していない。</p> |
| 委員 | ○117 ページについて、戦略にのっているのは1つのみだが、委員の方みなさんは趣旨全体を理解できているのか。元々の数が少なすぎるように思う。 |
| 副会長 | ○戦略については、まちづくり戦略の議論を今後行うので、その際に全体で再考することとしたい。個別分野をまず全て審議した後に、改めて加藤委員のご意見を含め議論を行うこととする。 |
| 委員 | ○分野別の項目としてどの項目を入れていくか考える必要がある。今回配布された資料と、事前の資料の中身や、文章表現を事務局がかえている部分がある。変更点については、委員に教えてほしい。 |
| 事務局 | ○基本計画の審議の中に戦略の項目を入れたために、わかりづらくなってしまったことをお詫びします。 |
| 委員 | <p>○109 ページ「地球温暖化対策実行計画」は既に策定したのか。</p> <p>○110 ページに「スズメバチ」とあるが、「スズメバチ類」に表現を統一した方が</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>良いのではないか。</p> <p>○112 ページの上段「第5章」の記述が抜けている</p> <p>○114 ページ、枝のチップ化について明記すべきではないか。チップ化して町民に還元していることも明記すべきではないか。</p> <p>○117 ページにおいて「命」ではなく、「生命や財産」と表記すべきではないか。</p> <p>○118 ページ、組織化して川の環境保護活動などを行っている団体について、明記すべきではないか。</p> <p>○120 ページの公園・緑地の整備はまだ行っていないので、(仮称)にすべきではないか。</p> <p>○121 ページは、「保全」ではなく「努めます」の表記の方が良いのではないか。</p> <p>○121 ページは、「維持管理」でなく、「緑化管理」と表記の方が良いのではないか。</p> <p>○121 ページの「苗木や花の苗の配布」は、誰に行っているのか。</p> <p>○123 ページの「全町農業構想計画」の取組はどうなったか？</p> <p>○5章全体で、「検討します」という表現が多いが、より前向きな表現にすべきではないか。</p> |
| 事務局 | <p>○今回の「地球温暖化対策実行計画」については国の法律に基づいて、平成27年度中に策定する。</p> <p>○苗木の配布は、ふれあい祭りにおいて先着順に配布している。</p> <p>○「全町農業構想計画」の名称は終了し、現状は行っていない。</p> |
| 副会長 | <p>○「検討します」よりも「努めます」の表現は良いのではないか。</p> |
| 委員 | <p>○前向きな表現としてとらえることができるので、「努めます」の方が、基本計画の表現としては適していると思う。</p> |
| 委員 | <p>○「検討します」では、結局やらないという表現として捉えてしまう。</p> |
| 事務局 | <p>○第5章は、時間的スパンのかかる計画が多いため、表記が難しいという部分もある。再考したい。</p> |
| 委員 | <p>○114 ページ、生ごみの堆肥化等の促進について、今日現在がどのような状況であり、将来的にどのような推進活動を行うのか。</p> |
| 事務局 | <p>○現在では生ごみを資源として活用するために、給食センターと保育園では継続的に堆肥化する活動を行っている。活動が進んだ地域もあったが、ごみの仕分けの労力などもあり現状頓挫してしまっている。今後、地元の方々と話し合いの場を持ち、今後の取組を検討したい。</p> |
| 委員 | <p>○113 ページのごみの処理方法、分別などが外国人住民に周知されているか。</p> <p>○周知するために、誰がどう理解させるのが不透明。役場が個別指導するかなどを決めていくべきではないか。</p> <p>○ごみ分別については町が運営していることなので、翻訳の取り組みなどを考え、行っていくべきではないか。</p> |
| 事務局 | <p>○大口町に滞在する外国の方は、企業関係の方が多く、役場として外国の方に対応するという意識が薄いのが現状であると捉えている。</p> |

| | |
|-------|--|
| | ○特別大きな問題が起こっているとは認識していないが、今後外国籍の方が増えることもあるので、ごみに関しては対応を考えてご報告したい。 |
| 副 会 長 | ○以前、ある団体が外国人向けの翻訳などを行っていたと聞いたことがある。現状、ごみの分別についての翻訳までできているかわからないが、そのような活動が町内にもある。 |
| 委 員 | ○ごみの捨て方に関しては、日本語、英語、中国語で書かれている。 |
| 委 員 | ○外国人を支援する組織は多いので、翻訳など連携してフォローする必要があるのではないか。 |
| 委 員 | ○近隣市町村での翻訳を真似てやってもよいのではないか。 |
| 事 務 局 | ○前向きに、対応できるように検討したい。 |
| 委 員 | ○商工業の支援で、事業を行う場所の確保に関する支援はあるのか。アイデアがあっても資本力がない方に関して、支援活動はどのようなものがあるのか。 |
| 事 務 局 | ○以前からこの議論は出ており、110 ページに書かれている事のみで、起業への支援は現状はないが、今後支援出来るように検討したい。 |

■基本計画 分野別計画（案）第6章について

| | |
|-------|--|
| 副 会 長 | ○資料3 第3編基本計画分野別計画（案）第6章について説明をお願いします。 |
| 事 務 局 | ○資料3 第3編基本計画分野別計画（案）第6章について説明。 |
| 副 会 長 | ○第5章の内容で質問や意見がある方は、発言をお願いいたします。 |
| 委 員 | ○135 ページに「地域に興味を持つ人達が」と記述されているが、全ての町民に当てはまることであるので、「地域の人達が」にすべきではないか。 ○147 ページに「3年に一度」とあるが、実施はいつから行うのか。 |
| 事 務 局 | ○「3年に一度」と記述されているが、その時々々の社会情勢により見直しを行うかどうか判断している。現状では平成26年度に行ったため、平成28年度に見直し、平成29年度に実施する予定である。 |
| 委 員 | ○財政収支を見ながら、各年見直していくということでは良いのではないか |
| 事 務 局 | ○施設の使用料など窓口に関するものなどを、見直す対象として考えている。 |
| 委 員 | ○142 ページの、民間委託の「拡大」という言葉は適切でないのではないか。今後、民間への委託は導入する必要があることは理解できるが、行政が導入拡大するという姿勢に違和感がある。 ○144 ページにある「強化を進めます」という表記は、町からのトップダウン的な表現であり正しくはないのではないか。 ○147 ページ、小学生に対する税制度教育は可能なのか。 ○147 ページの「収納率の向上」について、「滞納処分を執行」という記述は、行き過ぎた表現ではないだろうか。 ○148 ページで「枠配分方式の中で」と言い切っているが、「縦割り」と「横の連携により」と記述されているので、表現を統一して明確に書く必要があるのではないか。 |

| | |
|-------|---|
| 委 員 | ○148 ページは「積極的に財政処置を図ります」という表現でよいのではないか。 |
| 事 務 局 | ○小学生向けの租税教室は現在も行っている。今年度は 12 月に小学校で行う予定である。 |
| 委 員 | ○租税意識の向上と周知については、小学生に対しても必要であるが、納税者に対しての広報もより必要なのではないか。 |
| 事 務 局 | ○租税教室については、小学生が家庭に帰り、親に授業内容を話すことなどで普及効果があるとも考えている。 ○142 ページの「拡大」という表現は削除します。 ○144 ページの「強化」という表現は、見直しを行います。 ○148 ページの「横の連携により」という表現は、見直しを行います。 |
| 委 員 | ○まちづくり戦略に関する予算措置は今後行うのか。 |
| 事 務 局 | ○補助金など、特定補助を得ようとする動きが役所の中で少ないと感じている。 |
| 委 員 | ○143 ページに「行政評価システムの見直し」と記述されているが、現状どのようなシステムなのか。どう変えるか具体的な考えはあるのか。また、どのような周期で行おうとしているのか。 |
| 事 務 局 | ○行政経営計画書に基づき、3年間のPDCAサイクルについて毎年確認を行っている。事業内容については、総合計画に合わせて、その都度見直していきたいと考えている。その都度に、やり方全体を変えるということではない。 |
| 委 員 | ○行政経営計画書について、3年間のローリングプランを作っていたが、毎年総合計画に照らし合わせて見直していくのか。 |
| 事 務 局 | ○行政経営計画書における3年間のローリングプランに基づき、見直している。 |
| 委 員 | ○147 ページは「産業振興について検討」でなく、具体的な表現にすべきではないか。法人町民税が非常に不安定である。 ○町民税を安定的に確保するためには、住民税を払う人を増やすしかないのではないか。人口が横ばいの状態で、財政確保できるのか。また、そのような若い人を増やすための対策はどう考えているか。 |
| 事 務 局 | ○検討するだけではないので、「努めます」という表現に直したい。 ○法人町民税は波打つが、法人税収を 10 億円に設定したうえで、行政の政策を 5 年間ほど持ちこたえる仕組みを作っている。今後は、現状の企業との付き合いを大切にしながら、面積的に小さな企業を誘致するなどの取組みも行っている。 ○人口施策については急激に人口を増やさないことで、財政的には長期にわたり安定的に行えてきた面もある。ただし人口バランスを維持することは重要であり、今後、会社の寮から出られる方に対して、町内の空き家に移ってもらえるような活動をしたいと考えている。 |
| 委 員 | ○146 ページには「国の厳しい経済状況」、148 ページには、「国の厳しい財政状況とあるが」違う観点なのか。 ○153 ページに「職員の意識改革」とあるが、文章自体が難解なので整理したほうがよいのではないか。 |

| | |
|-------|--|
| 委 員 | ○136 ページに「地域自治組織」とは、今ある行政区とどのように違う形態のことを指すのか。 |
| 事 務 局 | ○行政区については、身近なご近所づきあい、自治組織は小学校区単位のつきあいという考え方である。また行政区は1年交代の役員であるが、自治組織は継続的な役員という考え方である。それぞれの役割にどう行政が関わっていくかということも、今後の課題であると考えている。 |
| 委 員 | ○141 ページ、「マイナンバー施工に伴い」という表現を、152 ページ、153 ページでも同じにすべきではないか。 ○143 ページでは「検討します」となっているが、151 ページ「実施します」となっているので、統一すべきではないか。 ○143 ページ、職員を対象とした、セキュリティ保護研修を徹底する必要がある。 ○148 ページに「行政経営計画」と「行政経営計画書」とあるが統一願いたい。「行政経営計画によると」という表現がよいのではないか。 ○141 ページに「改修更新」「維持更新」とあるが、統一すべきではないか。 ○150 ページにあるケーブルテレビを使った広報活動の充実も、検討事項にあげられるのではないか。 |
| 副 会 長 | ○139 ページ「住民団体の強みを活かした行政」とあるが、行政が活動をコントロールしているように捉えることができるので、表現を直してほしい。 ○142 ページにある主要事業が「各種プロジェクト」とあるが、どんなプロジェクトかを書かないとわからない。 |
| 委 員 | ○143 ページ「町民意向調査」「町民意識調査」とあるがどちらが正しいのか。 ○135 ページは字体違う。 |
| 事 務 局 | ○143 ページについては、確認の上、訂正します。 |

(2) まちづくり戦略について

| | |
|--|-------------------------|
| | ○定刻を過ぎたため、次回に議題持ち越しとする。 |
|--|-------------------------|

(3) その他

| | |
|-------|---|
| 副 会 長 | ○まちづくり戦略につきましては、次回に議論することとします。 |
| 事 務 局 | ○次回に関しては、26 日に行おうと考えておりましたが、岩崎会長が体調不良で欠席されたため、再度日程調整を行い、決まり次第ご連絡することとします。 |

以上